

## 『千葉県の歴史 資料編 古代』の刊行

これは一九九一年から始まった千葉県史編纂事業の最初の成果として刊行された、資料編二巻、別編一巻、自然誌一巻のうちの一巻である。房総三国に関わる文献史料を神話・伝承の分野から治承三年（一一七九）まで編年で収めるほか、木簡、正倉院調庸綾施布墨書銘文、楊守敬本『将門記』（写真版）などを収載する。そのほか、別冊として「出土文字資料集成」があり、墨書土器や文字瓦などの出土文字資料を集成していることが特筆される。他県に例を見ないほど大量に出土している墨書土器を一覧できるようになったことは大きな成果であろう。なお、市原市の市原条里制遺跡出土木簡（本誌一三号所収）は別冊ではなく本文に収録されている点を付言しておきたい。

財)千葉県史料研究財団編集、千葉県発行、一九九六年三月刊

A4判、本文六一二頁、図版九八頁、別冊四〇〇頁

頒価五四〇〇円、送料四六〇円

問い合わせ

千葉県史頒布会 TEL 〇四三一一二七―七五五一